



羅針盤

社会科部 情報活用委員会

くらしとつなげる！そして考える！

藤川小学校 校長 片桐 徹

修学旅行でとても感心したことがありました。入社2年目でまだ成人式も迎えていないバスガイドさんのことです。彼女のガイドはメモなどを一切見なくても様々な地名や人物名が出てきました。また、何度も修学旅行に出向いている私でさえ引き込まれる多様なエピソードが織り込まれ、単なる知識の伝達で終わるのではなく、今のくらしとつなげて語ろうとする意図と工夫が感じられたのです。

さぞ社会科好きであったであろうと思い、尋ねてみると、「社会科は高校を卒業するまで一番苦手で嫌いな教科でした」と聞かされ大変驚きました。「試験のために覚えようとする」と全く頭に入らなかったのに、乗客の方を思い浮かべて、歴史や町がその方たちとどうつながっているのかを想像するとだんだんおもしろくなってきました。そのうちに人や出来事がどんどん結び付いて自然に頭に残るようになったんです」と話してくれました。仕事を通して社会科を学び直し、新たな見方でそのおもしろさを子供たちにも伝えてくれたことは本当に素晴らしいと思いました。

私たちの回りの人・もの・ことは、それぞれがつながり、深く関わり合っています。長い歴史の中で人々が積み上げてきた多くの失敗とその中で生み出された知恵は、現在の私たちのくらしと確実につながっているのです。子供たちにもそんな視点で今のくらしを見つめ直すようになってほしいと思います。それは、私たちが社会科の授業で教科書に記述してあることだけを教えては叶いません。社会的事象と今のくらしとのつながりや関わりを常に意識すること、そして子供たちに気づかせ考えさせていくことが必要です。このことが社会科学学習のねらいである公民的資質の育成につながるのです。

社会科・新任の先生の紹介

今年度の社会科部の新任は10名です。
どうぞよろしくお願ひいたします。

梅園小 福井 栞奈
羽根小 木下 智尋
岡崎小 青木 拓人

六名小 村田 修也
竜美丘小 鈴木 良太
矢作南小 石川 寛之

六ツ中野小 佐藤 菜美
六ツ北小 細井 雄介

美川中 岩井 康泰
葵中 山田 匠馬

「授業力・教師力アップセミナー基礎編」報告 (連尺小 木里 悠乃先生)

7月28日(火)岡崎公園河川敷～桜城橋～籠田公園周辺にて、セミナーが開催されました。猛暑の中ではありますが、大変多くの先生方に参加していただきました。

【見学の様子】

前半は、岡崎城跡菅生川端石垣を見学し、発掘調査からわかったことを学芸員の方に詳しく解説をしていただきました。後半は、桜城橋から籠田公園まで歩きながら、都市計画課の方に「QURUWA戦略」について説明を受けました。変わりゆく町の風景を実感することができました。その後、指導員の森田先生・安井先生による、授業づくりの講義がありました。見学地を生かした単元構想や社会科の見方・考え方に着目した学習課題の設定の仕方など、具体的なアドバイスをいただきました。今後の授業実践の参考になりました。



「愛知県社会科教育研究大会」報告 ※岡崎市の発表は令和5年度の予定

8月2日(月)蒲郡市民会館にて、愛知県社会科研究大会が開催されました。市内から30名近くの先生方に参加していただきました。土屋武志先生(愛知教育大学教授)による講演、各分科会では、豊田市、蒲郡市、刈谷市、高浜市、西尾市の実践発表が行われました。今後の実践に生かすことのできる、充実した学びの場となりました。

発見！一押し地域教材！ (三島小 倉田 舞先生)

「安心院：焼夷弾跡、防空壕跡」(三島小学区)

★授業への活かし方

- ・小学校6年生 「長く続いた戦争と人々の暮らし」
- ・学習課題

「戦争中人々はどのような生活をしていただろう」

★この教材を使い、工夫した点

①「どこか」の出来事から「岡崎市」「三島学区」の出来事に引き寄せるために単元の導入で使う

三島小学校は空襲で校舎が焼け、近くのお寺・安心院で当時の子供たちが学習していた時期があったそうです。焼夷弾跡や防空壕、当時の黒板などを見て、子供たちはあらためて自分達の学区にも「戦争」はあったのだと実感しました。そうすることで、課題が生まれ、切実感をもって追究活動に入ることができました。

②「学区」「身近」という意識を持続させる

調べ学習でもできるだけ岡崎市の資料を使うようにしました。また、苦しい生活を知るにつれ「当時の人はどんな思いだったのだろう」という疑問が生まれ、児童の曾祖母など学区にいる戦争体験者の方にお話を聞きました。戦争体験者の方々の高年齢化が進んでいる昨今、目の前にいる子供たちは話を聞ける最後の世代かもしれません。少しでも子供達の主体的な学びが持続するようにと、地域教材や資料を工夫しました。

青空教室で当時使っていた黒板、焼夷弾がささった跡、裏山には公共の防空壕跡があります。



必見！授業技！ (竜海中 赤堀 大知先生)

～ICTを活用した追究活動と学習のまとめ～

国名	平均寿命	乳児(1歳未満)の死亡率 【1000人当たりの死亡率】	5歳未満死亡率 【1000人当たりの死亡率】	1人当たりGNI 【収入(単位:ドル)】
日本	84.7歳	2人	3人	43,630
ケニア	66.7歳	36人	49人	3,130
南アフリカ	69.6歳	24人	43人	12,880
インド	73.9歳	12人	32人	1,880
中国	78.1歳	9人	10人	18,480
アフリカ	78.9歳	8人	7人	28,620
アフリカ	81歳	3人	4人	49,770

A アフリカ州の国々での、平均寿命が他の国々に比べて低くなっている。

B 1歳児未満から、5歳児未満の死亡率が高い。(他の国々と比べて30人以上も多い)

社会 図帳 ファイル +

新着 アップロード 同期 リンクをコピー タウンロー

- Q: ボン農子の耕地での稲刈.mp4 動画制 赤堀 大知
- Q: ボン農子と畜産の関係.mp4 動画制 赤堀 大知
- Q: ボン農子と治安の関係.mp4 動画制 赤堀 大知
- Q: ボン農子と収入の関係.mp4 約1分前 赤堀 大知
- Q: 事業を始めると、購入する年齢.mp4 約1分前 赤堀 大知
- Q: 女性と男性の不同について.mp4 約1分前 赤堀 大知
- Q: ケニアからの移住生.mp4 約1分前 赤堀 大知
- Q: ボン農子の健康を高める.mp4 約1分前 赤堀 大知
- Q: ボン農子の作り方となぜボン農子作りを... 動画制 赤堀 大知

僕はアフリカはアフリカで成長していけるのでは無いかと思います。右の図①を見てください。アフリカは世界屈指のアメタル大国です。そして僕はその中でも、自動車に使われるアメタルについて調べました。右の図②を見てください。この図を見れば分かる通り自動車にとって必要不可欠な存在だと分かります。そして右の図③を見てください。アフリカ南部には自動車を作る時に必要なニッケルなどの多くのアメタルが採れます。そして鉱山では鉱石を掘る加工すると多くの人員が必要となり、仕事の数が増える事が期待できる。以上のお金経済が優先し、お金を稼ぐ事が出来る。そうすれば、医療、治安、食までも解決するのでは無いでしょうか。



東アフリカ発展

国名	GDP	人口	成長率
ケニア	100億	5000万人	5%
南アフリカ	300億	6000万人	2%
インド	2000億	14000万人	7%
中国	15000億	14000万人	5%

A

B

C

A: 複数の資料から生徒自身の興味関心に応じて資料を読み取ります。手書き入力も可能なため、気が付いたことをすぐに記入することができます。(スクールタクトを活用)

B: ゲストティーチャーの講話を Teams にアップしました。繰り返し視聴することができます。

C: 単元の最後に1人1ページでまとめました。「共同閲覧モード」を活用することで、全員の考えを共有することができます。(スクールタクトを活用)

【本時までの流れ】

Aは、アフリカ州の導入で使いました。複数の資料の中から自分の興味関心に応じて調べ学習を行いました。アフリカ州が抱える課題を見つける手段として、スクールタクトを活用しました。

Bは、アフリカが抱える複数の課題を解決するための方法を考える段階で使いました。全学級がゲストティーチャーの話聞き、自分の考えをまとめるための手段として Teams を活用しました。

Cは、アフリカ州の学習のまとめで使いました。全体で意見を共有する手段としてスクールタクトを活用しました。

【ICT使用の意図】

①追究活動では、生徒によって追究したい視点や資料が異なるため、ICT 機器を活用することで『個別最適な学び』を実現できるのではないかと考えました。

②単元のまとめでは、スクールタクトの「共同閲覧モード」を活用することで生徒全員の意見が共有できるため、仲間の意見を取り入れることができるようにしました。